

F

貸与型

日本学生支援機構

※入学前に入金はありません。
※受給ではなく、貸与になります。
※詳細は直接日本学生支援機構にお問い合わせください。

給付型の奨学金制度もございます。
◀6ページ(前のページ)をご覧ください

予約採用申込みは
高等学校3年生の
4月~6月下旬

※高等学校によって若干異なりますので、
高等学校の先生にご相談ください。

日本学生支援機構奨学金では、高等学校で予約採用申込みができます。
予約採用申込みはこの時期のみの募集となります。

詳細は高等学校の奨学金窓口にお問い合わせください。

高等学校での予約申込みの方が
採用される確率も高く有利です。

- 進学後の申込みでは夏からの貸与になりますが、予約採用の奨学金は春からの貸与になります。
- 進学先が確定してなくても申込みでき、採用決定後の取り消しも可能です。

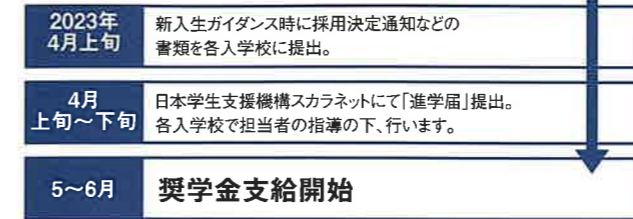
高等学校を卒業後、2年以内かつ進学していない方は、
卒業高等学校より予約採用の申込みができます。

※出身高等学校が受付窓口となります。

★10月上旬も申込み可能な場合も有。

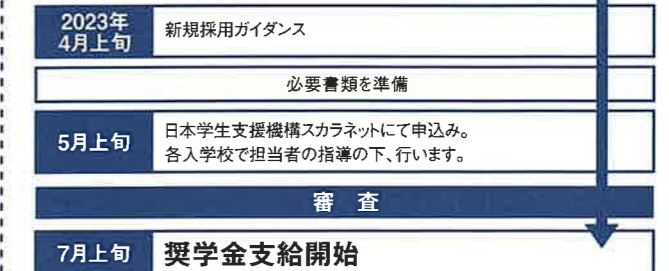
日本学生支援機構の手続きの流れ

〈予約採用の方〉



※在籍されている高等学校を通じて予約採用の申込み手続きをして審査の通った方が対象となります。

〈入学後に申し込む場合〉



※大卒・社会人の方も利用できます。

第一種奨学金(無利息)

募集に関して

募集時期	毎年 春
貸与月額 (私立専門学校)	自宅通学:53,000円、40,000円、30,000円、20,000円 / 自宅外通学:60,000円~20,000円(10,000円毎)
貸与始期	採用決定時期は7月頃(予約採用は5月頃)ですが、4月・5月・6月分の貸与を受けることも可能です。
応募基準	人物 特に優れた学生等であって、経済的理由により著しく就学に困難がある方。(併用貸与も同じです。)
	所得 日本学生支援機構が定めた収入基準額以下であること。(基準額、算出方法は家族の数や構成によっても異なります。)
	学力 <予約採用> 評定平均値3.5以上など。(在学採用) 高等学校最終2か年の成績が3.2以上など。 ※家計支持者が住民税非課税である場合を除く
推薦方法	本校から応募基準内の出願者全員を推薦し、日本学生支援機構において選考、採用を決定します。

第一種奨学金・返還例 2年制専攻(専門課程24ヵ月の場合)

返還例	貸与月額	借入金額	返還回数	返還月額	
				自宅通学	自宅外通学
2年間 (24ヵ月) 貸与の場合	53,000円	1,272,000円	144回(12年)	8,833円	
	60,000円	1,440,000円	156回(13年)	9,230円	

第一種奨学金・返還例 3年制専攻(専門課程36ヵ月の場合)

返還例	貸与月額	借入金額	返還回数	返還月額	
				自宅通学	自宅外通学
3年間 (36ヵ月) 貸与の場合	53,000円	1,908,000円	156回(13年)	12,230円	
	60,000円	2,160,000円	168回(14年)	12,857円	

第一種奨学金・返還例 4年制専攻(専門課程48ヵ月の場合)

返還例	貸与月額	借入金額	返還回数	返還月額	
				自宅通学	自宅外通学
4年間 (48ヵ月) 貸与の場合	53,000円	2,544,000円	168回(14年)	15,142円	
	60,000円	2,880,000円	192回(16年)	15,000円	

おおよその収入・所得限度額表(4人世帯の場合) ※世帯収入

	第一種奨学金		第二種奨学金との併用貸与	
	給与所得	給与所得以外の世帯	給与所得	給与所得以外の世帯
自宅4人世帯	781万円	373万円	720万円	330万円
自宅外4人世帯	826万円	418万円	783万円	375万円

2022年(令和4年)4月現在

第二種奨学金(利息付)

※入学後金額変更可能

募集に関して

募集時期	毎年 春
貸与月額(私立専門学校)	次の中から選択でき、貸与中に金額変更が可能です。月額20,000円~120,000円(10,000円刻み)
貸与始期	採用決定時期は7月頃(予約採用は5月頃)ですが、4月・5月・6月分の貸与を受けることも可能です。
応募基準	人物 特に優れた学生等であって、経済的理由により著しく就学に困難がある方。(併用貸与も同じです。)
	所得 日本学生支援機構が定めた収入基準額以下であること。(基準額、算出方法は家族の数や構成によっても異なります。)
	学力 学習意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると学校長が認めた方。学年平均水準以上。
推薦方法	本校から応募基準内の出願者全員を推薦し、日本学生支援機構において選考、採用を決定します。

併せて、「入学時特別増額貸与奨学金」制度(日本政策金融公庫の「国の教育ローン」)の融資を受けられなかった世帯の方が対象)もごさいます。
※特別増額貸与金額:100,000円、200,000円、300,000円、400,000円、500,000円から選択可能

第二種奨学金・返済例(専門課程24ヵ月/36ヵ月、年利3%の場合) 金利:上限3%

貸与希望金額	30,000円 / 50,000円 / 80,000円 / 100,000円 / 120,000円(月額)					
	返済例	貸与月額	貸与総額	返済回数	返済月額	返還年数
2年間 (24ヵ月) 貸与の場合	30,000円	30,000円	720,000円	108回	7,713円	9年
	50,000円	50,000円	1,200,000円	144回	10,055円	12年
	80,000円	80,000円	1,920,000円	156回	15,059円	13年
	100,000円	100,000円	2,400,000円	180回	16,769円	15年
	120,000円	120,000円	2,880,000円	192回	19,125円	16年
3年間 (36ヵ月) 貸与の場合	30,000円	30,000円	1,080,000円	144回	9,050円	12年
	50,000円	50,000円	1,800,000円	156回	14,117円	13年
	80,000円	80,000円	2,880,000円	192回	19,125円	16年
	100,000円	100,000円	3,600,000円	240回	20,185円	20年
	120,000円	120,000円	4,320,000円	240回	24,222円	20年
4年間 (48ヵ月) 貸与の場合	30,000円	30,000円	1,440,000円	156回	11,293円	13年
	50,000円	50,000円	2,400,000円	180回	16,769円	15年
	80,000円	80,000円	3,840,000円	240回	21,531円	20年
	100,000円	100,000円	4,800,000円	240回	26,914円	20年
	120,000円	120,000円	5,760,000円	240回	32,297円	20年

おおよその収入・所得限度額表(4人世帯の場合) ※世帯収入

	第二種奨学金		第一種奨学金との併用貸与	
	給与所得	給与所得以外の世帯	給与所得	給与所得以外の世帯
自宅4人世帯	1,124万円	716万円	720万円	330万円
自宅外4人世帯	1,169万円	761万円	783万円	375万円

2022年(令和4年)4月現在